

2020年度地球科学科第1回FD委員会議事録

2020年度の地球科学科第1回FD委員会は、コロナ禍により学科会がZoom会議になり、時間的に十分な時間を確保することは難しかったため、メールにより意見や情報の交換を行った。

日時：2021年2月14日（日）～3月14日（日）

参加者：スタッフ全員

メールによる意見や情報の交換の主な内容は以下のようなものであった。

① 2019年度に実施した授業改善アンケートの回答に関すること

- ・難易度について「とても難しい・やや難しい」が9割を超えた科目について、詳しく分析した結果の紹介があった。これまでの授業の進み方が速いという意見に対応してプリントから板書への切り替えたこと、基礎的な事項のみにしたので難易度の結果は意外であったこと、試験に関してはすべて解説を行ったにもかかわらずフィードバックがなかったとの意見もみられたこと、また試験に関してあらかじめBbに各自で復習できるよう練習問題と解説をのせたが効果はあまりなく、学力そのものより、基本的な学修姿勢がない学生が多いと感じたことなどが紹介された。
- ・2018年度以前からBbを活用している教員からBbは役立ったかという設問に対する「強く思う・そう思う」の割合が科目によって大きく異なるとの報告があった。
- ・2018年度からの改善点として2018年まではBbに必要な資料の配付に使用していたが、2019年から復習用の問題を掲載し、積極的に使用するようにした事例や難易度が難しいという評価が多かった科目について2018年まではプリントに書き込む方法をメインとしていたが、あえて板書して解説する部分を増やした事例の紹介があった。
- ・授業改善アンケートについて検討する意義や時期についての質疑があった。例年は前期に実施しているが、2020年度は特例であること、他の教員の事例を参考にすることで自身の授業改善に役立てることがJABEE継続に重要であることなどが説明された。
- ・前期に比べて後期の回答率が下がっている傾向がみられる。アンケートを実施する授業回数によっても回収率が大きく異なる。
- ・授業規模による分析も必要。

- ・初回授業でシラバスの説明と成績評価の説明をしているが、アンケート結果を見ると説明が十分でなかったようである。実際に何がどの程度足りないのか、どのような情報が欲しいのか、具体的な事がわかると改善につなげやすい。

② コロナ禍での授業改善に関すること

- ・Zoom による授業ではペンタブレットを使用しコメントの内容を伝えること、一方向にならないように口頭で解答を求めたこと、短い課題を授業内に回答することも織り交ぜたこと、課題研究では課題内容の選択が重要なこと、1年生には授業の動画教材とプリントとは別にプリントの利用方法の説明プリントや動画を作成し、3年生以上にはシンプルな教材にしたことなどの事例が紹介された。
- ・小レポートは遠隔授業の場合、時間をかけて自ら調べることができる反面、整理をせず安易にコピーしてはり付ける傾向が強い。また、期限後に正答やフィードバックを聞き出し、そのままメールにはり付けて送ってくるという例があった。解決策として、課題の一つに、ネット情報のみでは答えられないレポートを課してみた。

③ 2020 年度の授業改善アンケートの実施方法についての改善点などについての提案・意見

- ・2020 年度の web 上でのアンケート実施は、授業時間をとられないこと、回収などを学生に依頼する必要がない点で良いと感じた。
- ・授業課題とともにアンケートを学生に依頼したが、未提出者が多かったため、授業課題とは別に周知した方が良かった。
- ・学部 FD 委員会から、教員への依頼文書と併せて学生向けに書かれた文書が配布され、教員はそれをコピペして Bb の掲示板に載せるくらいの手間で済むと、取り組みやすい。2021 年度も遠隔授業が主体となるので、学生への通知について、担当教員からではなく、Bb を通して受講生に連絡できる体制を学部 FD 委員会で作って欲しい。
- ・上記の改善のための要望については、2021 年度の学科 FD 委員会に引継ぎ、学部 FD 委員会に伝えます。

④ ①～③以外について

- ・授業内課題の未提出により単位を落とした学生が多く見られ、遠隔授業による気のゆるみか熱意低下が推察された。

- ・系統別回答率（自己申告欠席二回以下の回答者を母集団とする？）で、欠席回数が3回、4回以上と回答されているのが何故かわらない。
- ・記名式アンケートの方がアンケートを有効なものにすることができる。
- ・講義科目のTAやSAに関する項目では、「①の当てはまらない」を選択するのが適切だが、そうではない回答が多い。いい加減に回答しているのか、それともTAが必要と感じて訴えているのか不明である。
- ・文理学部が作成した著作権や肖像権に関する注意事項を初回授業で説明したが、授業資料を二次配布した例があり、効果が薄かったと感じた。
- ・2019年度の授業（1限目）でも遅刻者が多かった。遅刻しないように注意したが、授業期間内に改善は見られなかった。

以上（文責：学科FD担当鶴川）